

行われており、中央・地方とも行政やそれを監視している筈の議会に経営感覚が全く欠如しているのが現実である。

4. 21世紀の日本のパラダイム

従来の道州制による地方自治から更に発展して、基礎自治体「市」を中核とする新しい地方分権—地方自治へのパラダイム変換を提唱する関西からの提言である。

日本の財政破綻の原因は、地方財政システムの補助金制度と地方交付税制度にあり、現実には地方自治とはほど遠い「中央の支配」と「地方のたかり」の構図となっており、自己負担に応じた行政サービスという自治原則が守られず、無用の非効率を生んでいるので、これを正して真の地方自治を実現しようとする方策である。

産業政策や社会資本形成には広域地方行政が必要であるが、これを道州制として総合行政機関とすると、中央の支配が道州に代わっただけで効果が薄いので、地方行政の経営主体を全国市町村を200程度に再編した「市」におき、広域行政は「ブロック別機関」として市長を議員とする連合体として運営する所に特色がある。このようにスリム化して財政試算をすると現在でも年間13兆円の減税が可能であるとのことである。

最近、東京、神奈川、大阪の財政も破綻しつつあり、このままではみんなが「仲良く衰退」することになり、「新しい発展を望む」なら本気で地方分権を実行する必要がある。

これに対して種々討議されたが、主な意見は次の通りであった。

- A) この提言は平成維新憲章とも合致しており、道州制より一步進んだものと認められる。
 - B) 日本の現状は、残念ながら町会レベルまで、自治意識の欠如が顕著である。
 - C) 真の地方自治への大変革が成功すれば、大勢はそれに順応するであろう。
 - D) 関西と連動して、一番むしられている首都圏が自覚して発憤する必要がある。
 - E) 民主党と自由党の主張が近いが、もっと地方自治への移行を明確にするよう要求する。
 - F) その上で政治勢力の結集をはかり、政権獲得して実行することが有効な方策であろう。
- ・集会後、地下の「つば八」にて2次会を行う。

【B】東京5区・10月例会記録（治田桂四郎）

○10月3日（土）10：00～12：00、於いて練馬公民館にて、標記の会を行いました。出席者は、吉井さん、板橋さん、長妻謙三郎さん、沖山さん、門叶さん、私の6人でした。

○議事他は、次の通りです。

1. 前回（9月5日）以降の経過報告

- イ) 9月5日（土）午後、衆議院議員定数訴訟勉強会
- ロ) 9日（水）午後、ながつま昭氏のポスター貼
- ハ) 10日（木）午後4時半より、ザ・フォーラム（菅さん他）
- ニ) 10日（木）リンク創（枝野氏）
- ホ) 11日（金）ながつま昭ポスター貼り

- ヘ) 11日（金）夜、9月度副代表会議
- ト) 13日（日）午後4時より5時、KANプロジェクト支援活動
- チ) 10月1日（木）午後7時より、「元気の出る一日の会」

2. 議題そのもの

- イ) ながつま昭さんの活動（選挙と国政について）
- ロ) 小川さんの活動（参議院他）について
- ハ) 林ともじさんとの連携（都政について）
- ニ) 区政について…練馬区政について
 - A. 和田まほのハガキ通信VOL.13の内容を紹介した。
 - (1) 9月の初週に、一斉に行われた委員会視察は、6委員会すべての視察先が、北海道だった。こんな事は、初めてだったので、区民への積極的な情報公開が必要と「視察内容を区議会だよりで報告すべき」提案した。他会派の考えは？結論はいかに？
 - (2) どうなる区長選！？私が議会に入って、最も強く感じた事は、「どんな人が区長であるかが区民にとって一番重要だ」ということでした。現在、元都議の中山幹雄氏、区議の沖山一雄氏、弁護士の淵上貫之氏、そして現職の岩波区長の4氏は非公式に立候補の意志を明らかにしています。岩波区長の再出馬については、与党会派の中でも「区民を訴えた事」、「76歳という高齢」に難色を示す議員もいるとのこと。なお、最近、第5の有力な候補者が、現れました。25日からの定例議会で岩波区長は出馬宣言するか、注目です。以下は、略します。
 - B. 沖山さんから上記の第5の候補は、都庁の局長だった人との話しが出て、更にそのような候補を皆さんはどう思うかとの質問が出た。それに対して、異口同音に複数の政党をバックにしたものであろうから、望ましくないとの意見が出た。実は、自公民が押すかも知れないとの事だった。
- ホ) 都民の会について…
 - A. 情報公開特別委員会では、今月5日の運営会議に豊島区の昨年度の食糧費を企画から精算、使用の適否までチェックする事を提案し、それにかかる費用を会から出して、頂く事の実現を取る。
 - B. 会の名称を変えるか変えないかを議決する。
 - C. 五区としては、来春の地方選に立候補予定の練馬区の斉藤氏、豊島区の藤本氏、日野氏を推薦する事を決めた。（この決議の時には、沖山さんも門叶さんも未だ来ていなかった）他。
- ア) その他…11月例会を第二土曜日に開催することの了解を頂く。

【C】大前通信購読者拡大特別委員会（江頭清昌）

| 【大前研一通信・講読会員申込案内】 |
| 郵便口座番号：00110-3-709334 |
| 振込名称：大前研一通信。 年会費：1万円。 |
| 問合せ先：TEL 03-3263-2300 FAX 03-3263-2430 |
